NO 7

校長のひとりごと

2021．6．18

天理市立柳本小学校

卒業制作に向けて （第２弾）

町の活性化をめざしたイベントの１つ、子どもたちに「柳本未来の姿」を描いてもらい、その中から選んだ絵をコンパネの大きさ（縦９０横１８０）に拡大し、駅舎待合室とホーム待合室に展示するというビッグプロジェクトに向けて、子どもたちに２回目のアンケートを行いました。

今回のお題は、「柳本の町でいつまでも残したい場所や残したいことは?」でした。

子どもたちが未来に残したいと思っている素晴らしい場所や残したいことは何だったでしょうか？

●ファミマ：（圧倒的に第１位６票）

普段のおやつ、もちろん遠足のおやつも、ゲームのカード（買いすぎに注意）なども,よく買っているようです。子ども同士でもすぐにいけるファミマは子どもたちにとって、なくてはならない存在なのですね。これは大人の感覚とは全く違うので、ちょっと面白かったです。特に６年生はファミマの上御得意さん？

●ふじおか：（文具・駄菓子屋）「将来、残したいところ」って、おかしを売っているところばっかりやないか！

●だんごや：こちらもやっぱり食べ物系！　６年生は食い気に走っている？！

●**黒塚古墳：**やっと食べ物から離れてくれた・・・黒塚公園、私も大好きです。
サクラの時期も、柳灯会の時もきれいですね。

●**景行天皇の墓：**他にも「古墳」と書いてくれた子がいました。柳本はほんとうに歴史を感じさせる町ですね.
●**山・龍王山：**５年の時、野外活動で龍王山をみんなで登り切ったのが印象に残ったのかもしれませんね。しんどかったけど、いい思い出になりましたね。
「もう、見るのもいらん」という意見でなくてよかったです。

●**家と柳小と親のお仕事場：**なるほど、なるほど。ごもっとも。誰が書いたかわからないけど、柳小と書いてくれたのはうれしかったなあ。
●**駅から学校までの道のり：**よくわかります。この通りの雰囲気はとってもいいですよね。

●**うら道：**どこの？？学校へはうら道、通ってこないでね。
●**田んぼ：**おたまじゃくしが泳ぐ田んぼも、金色の稲穂がたれる田んぼも情緒があっていいですよね。そういえばこの前、どろだらけになって５年生が田植えをしました。
●**いなかの雰囲気（いなか大好き）：**都会もうらやましいけど、この田舎の雰囲気を未来もやっぱり残したいですね。私も住むなら田舎がいいです。
●**命（人）・愛：**室町時代の日本の最高の文化人**三条西実隆**が１５５３年２月「吉野詣記」に「柳本長岡寺（長岳寺）に２夜宿泊したが、柳本は千夜でもいたいところ」と記録しているそうです。その理由は「人が優しく情け深い」からだったそうです。
そういうものも未来永劫、ずっと引き継いでいきたいですよね。

「未来の柳本にあったらいいなと思う物」「未来もやっぱり残したい物」を織り交ぜながら、いろいろな想像をふくらませ、夏休み、「未来の柳本」絵画制作に取り組んでくださいね。６年生が、どんな発想をしてくれるのか、楽しみです。